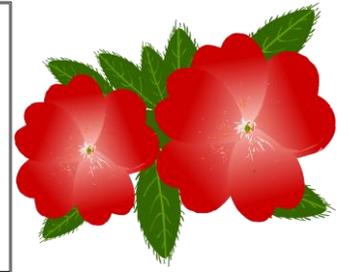


相模中学校だより 10月号

令和6年10月30日 発行：校長 小川雅嗣



すっかり秋らしくなり、朝晩は寒く感じられるようになってきました。今月は体育祭に向けた活動に、生徒たちは一生懸命取り組んでいました。特に色別練習の時間は、3つの学年がグラウンドに集まり、3年生を中心に1年から3年までペアやグループを作って練習する姿が多く見られ、普段はなかなか見られない微笑ましい光景も見られました。当日は多くの保護者の皆様にご観覧いただきありがとうございました。

第46回体育祭

10月19日、晴天の中、第46回体育祭を行いました。今年度も多くの来賓の皆様、保護者の皆様に応援をいただく中で、開催することができました。今年の体育祭の目標は「SGM.Unity ~輝く未来をこの手でつかめ~」です。生徒たちは練習の成果を発揮し、精一杯の競技と声援で大変盛り上がりました。優勝は青組、準優勝は黄組となりましたが、その団結力はどの色も素晴らしかったです。(体育祭の写真はHPでご覧ください。)



学年種目「大縄」

多くの種目の中でも、ひときわ盛り上がるのが学年種目の「大縄」です。1・2年生はクラスをA・B二つに分け合計回数で競い、3年生はクラス全員で大縄跳びの回数を競いました。1年生の最高回数は合計81回、2年生は合計220回、3年生は全員で67回という結果でしたが、3年生の大縄はとても迫力がありました。



1年3組 合計81回



2年2組 合計220回



3年5組 全員で67回

体育祭を終えて

体育祭実行委員長 佐藤 悠心

僕は予行練習やそれまでの各兄弟学級での取り組みを見て、絶対に成功すると内心思っていました。ですが、本番は期待を裏切る「大成功」で終わり三年間で一番楽しい体育祭だと感じました。体育祭という二大行事の一つが終わり、一息ついていると思いますが、相模祭はすぐに始まります。この体育祭の勢いのまま二大行事最後の相模祭を学校全体で「響力」して、最後まで走り抜けましょう。

赤組色長 望月 理央

自分は色長という大事な役割を任せていただき、中学校最後の体育祭ということもあったので、優勝することができず正直とても悔しいです。ですが体育祭の取り組みを通して自分を含めた3年1組のみんなの成長を感じることができ1、2年生とも団結し最高に楽しい体育祭を終えられたのでよかったです。そしてたくさんのサポート、準備などをしてくれた先生、五役、常任委員の方々に感謝したいです。また相模祭も皆で成功させたいです。

黄組色長 三竹 新汰

黄色組色長を務めさせていただいた三竹です。10月19日の体育祭お疲れさまでした。体育祭練習期間中はよく雨が降り、何回も練習がつぶれ、計画どおりに進まなかった中、どの色も限られた時間で声を出し、全クラス団結していたのを見て、負けられないなと心が燃えました。これからも相模祭がありますが、まずは期末テストをクラスの仲間みんなで乗り越えましょう。

オレンジ組色長 中島 陸翔

私達オレンジ組は、学年の壁を壊すことから始まり、ケンタッキーというスローガンを軸に体育祭練習に臨んできました。オレンジ組は、練習から本番のように声を張り、クラスの大縄を1回でも多く跳べるよう一人一人が精一杯頑張ってきました。そして、体育祭当日もどの組よりも応援し、オレンジ組全体で盛り上がることができました。最後の体育祭をこのオレンジ組のメンバーでできて良かったです。1、2年生のみんなありがとう！

緑組色長 山田 竜生

僕達は最初、応援の声が小さかったり、種目ごとに学年の壁があつたりと、様々な課題がありました。3年生も初めてまとめる立場に立って、少しとまどったりもしました。ですが、団長や種目責任者、1、2年生など協力や支えがあり、声が大きくなったり、壁が壊れたりしました。結果は最下位だったけど、段々と雰囲気良くなり、変わっていく4組兄弟学級を見て、僕はとてもうれしかったです。4組兄弟学級のみんな楽しい体育祭をありがとう！

青組色長 友田 歩花

自分は色長という立場になって改めて、勝つことだけじゃなく、みんなが楽しみながら、勝利をつかむ大切さを学びました!! 青組が今回1位を取れたのは、青組兄弟学級の一人一人が全力で青春し、なによりも全力で楽しんでくれたからだだと思います!! 最後の体育祭で、表彰台という最高のプレゼントありがとうございました!! 本当に最高すぎます!!

相模祭も価値ある勝ちにこだわって、どの学年も全力で青春し、頑張りましょう!!

相模祭に向けて

相模祭実行委員長 掛川 栞里

相模祭実行委員長の掛川栞里です。私は、全員が後悔せず「やりきった!」と思える相模祭にしたいと思っています。そのためには、自分の意見を主張すること、ですが相手の意見をしっかり聞くことも大切です。意見がバラバラでも、「良い合唱にしたい」という思いは同じです。後悔するよりも、お互いに意見を出し合い一所懸命に取り組めば、結果関係なく全員がやり切ったと思えると思います。相模祭まで、全員で頑張りましょう!